

令和3年度 第5回政策推進会議報告

日 時 7月20日 9時30分～10時30分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

1 第11次尼崎市交通安全計画の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

危機管理安全局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 資料の公表にあたっては、先日対策会議を実施した際に使用した資料についても審議用という前提で出していくと少しイメージを持ってもらいやすいのではないかと。
- ・(危機管理安全局長) 各施策のマトリックスや、どのような内容を注視していくかをまとめた資料があるので、可能なものについては出していきたい。
- ・(市長) 交通安全計画は国の計画、県の計画、市の計画というふうに数珠繋ぎになっていて5年に1回策定されるもので、正直あまり自由度がないかと思っていたが、ここ数年で私たちが自転車施策を始めとして、尼崎という街の特性にフォーカスした交通安全の取組をかなり進めてきたこともあって、尼崎市にできること、私たちが地域でやっていくべきことにフォーカスを当てて、重複するところは大胆に省き、少し身近に感じていただける計画にしていきたいということを念頭に置いて、今骨子を考えてもらっている。その骨子案を資料とした対策会議が盛り上がり、良いご意見をたくさんいただくことができ、非常に良いスタートが切れていると思うので、また資料を共有していけたらと思っている。1回目の対策会議の時であったが、子どもたちの登下校中の列に車両が突っ込むという事故がまた起きてしまい、やはりそういった通学路の安全確保がしっかり進められているのかとか、最近はあまり言われなくなったが高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いとか、そういった何年かに1回起きてしまう大きな事故に対して、一過性でない取組ができているかという論点もある。死亡事故を減らすことが大きな着眼点になっている計画で、高速道路の衝突事故を地域の取組でなくすというのは非常に難しいが、歩行者に関する事故はしっかりと地域で啓発していただく必要があり、死亡事故も件数が少ないのでしっかり中身を分析して、取組にメリハリをつけていけたらいいのではないかと議論があった。あとは何と言っても自転車だということで、自転車については尼崎固有のテーマとしてしっかり盛り込んでいこうと、今はそのような議論になっている。ちなみに昨年度も今年度もだが、市民運動の推進の枠でも自転車ルール of 徹底・マナーの向上を取り上げていくことになっており、事業者や学校、地域の皆さまと一緒に取り組んでいくことも話題になった。粛々と作っていく計画ではあるが、意欲的に尼崎市のオリジナリティも盛り込んでいこうとしている。

2 令和2年度企業会計決算の概要について

公営企業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・(総合政策局長) 19ページ、モーターボート競走事業会計の未処分利益剰余金について、これまでは一般会計とモーターボート競走事業会計で折半としていたと思うが、令和2年度には新型コロナウイルス感染症への対応として、特例的に、まず先行して20億円を一般会計に繰り入れ、残りの8億2,000万についても同じく新型コロナウイルス感染症への対応として特例的に一般会計に繰り出したという理解でよいか。

・(資産統括局長) まず20億円を特例的に新型コロナウイルス感染症対策として令和2年度の2月補正の中で財政調整基金に積み立てており、残りの8億2,000万円については、通常どおりであれば5億円をモーターボートの建設改良に係る基金積み立て、残りを折半するというルールになっているが、現時点では全額を一般会計に繰り入れる方向で調整している。8億2,000万円については、いわゆる新型コロナウイルス感染症対策の延長・継続という意味で財政調整基金に積み立てるのか、もしくはこの令和2年度の決算状況等を踏まえる中で公共施設整備保全基金に積み立てるのか、現在調整中である。

・(公営企業局管理者) モーターボート競走事業としては、令和2年度時点では電子投票を中心に売り上げが好調で、概ね計画値を上回る投資財源の確保が出来ている。こういった状況を踏まえ、資産統括局にて8億2,000万円の用途について検討されている状況である。

・(市長) 公営競技納付金の関係もあり、利益剰余金は全額、一般会計へ繰り出すこととなった。

3 その他

○総合政策局長から尼崎市ブランドブック写真展の開催について説明。

○総合政策局長から A-Lab「乱太郎とグッズの世界 その式」の開催について説明。

○経済環境局長からあま咲きコインキャンペーン開始について説明。

○経済環境局長から夏休み みんなで打ち水！2021について説明。

・(森山副市長) 乱太郎とグッズの世界その式に関連して、忍たま乱太郎のイベントに合わせたそれぞれの取組が一覧にまとめたマップを観光局が作成しているので、これについてもぜひご覧いただきたい。

・(市長) 尼崎信用金庫さんも100周年でいろんな企画をされていたり、総合文化センターではメインの尼子騒兵衛展、開明庁舎のなないろカフェなど、連動した企画をいろいろ進めている。それらをまとめたマップがあるのでこれも参考に、皆さん幅広くご参加いただきたい。

・(総合政策局長) 資料はないが、昨年4月に本庁の南館地下1階に開設した新型コロナウイルス総合サポートセンターの市民向け相談窓口について、昨今の相談件数の減少を踏まえ、明日7月21日をもって終了する。7月22日以降は、それぞれの相談内容に応じて関係部署の窓口で、引き続き市民・事業者の支援を行っていくことになるのでよろしくお願ひしたい。また新型コロナウイルス総合支援担当について現在、担当課長は保健所との兼職だが、組織そのものは今後も続き、今回の新型コロナウイルス関係の全庁的な整理を少しずつ始めようとしているので、皆様にもご協力をよろしくお願ひしたい。

・(市長) 新型コロナウイルス感染症に関しては、今後を引き継いでおくべき教訓というか、振り返りのポイントがたくさんあると思う。鉄は熱いうちに、記憶が新しいうちに情報等を集約

しておいた方がいいという思いもあり、各局それぞれに少し要点をまとめるような作業にもご協力いただきたい。また、本部体制を組んで推進しているワクチン接種については、御承知の通り国からの供給ペースと自治体の接種ペースが噛み合わない状況があり、ややペースを落とさざるを得ない状況になっている。本日も基礎疾患の無い40歳から59歳以下の予約を受け付けており、今後も引き続きワクチンの供給ペースに応じて予約枠を設定していくことになるが、県の調整枠が尼崎市に供給されておらず、昨日県へ提案と要望をしている状況でもあるなど、不確定要素が多く、市民の皆様からいろいろと声を聞く機会があるかもしれないが、引き続きワクチン接種を全力で進めていきたいので対応の程、よろしく願いしたい。

以 上